



# 北小だより

2024年度 No.8

2024年12月2日発行

燕市立燕北小学校

学校ホームページ 2次元コード ↑



ホームページアドレス

<https://www14.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510054>

## ことばを大切に

校長 小川 泰文

「いつもそうじで遊ばなかったけど、遊んだら新しいところが見えた。」

3年生の子がスマイルメモリーで書いた一言です。先日、1年生から6年生まで交じった班（本校はこの班をスマイル班としています。）で、親睦を深めるスマイルウィークが行われました。上級生を中心に、昼休みに遊ぶことを考え、普段なかなか遊ばない仲間とも楽しい時間を過ごしました。スマイルメモリーはこうした活動の最後に行う振り返りです。

この子の班は、清掃時間は無駄話をせず、仕事をがんばっているのでしょうか。見えた新しいところは、その子の良さだったから書く気になったのではないのでしょうか。

こうした取組の根底には、「いじめ見逃しゼロ」に向けた良好な人間関係づくりがあります。毎年子どもたちを見ていると、人間関係を左右するのは「言葉」である場合がほとんどです。関係を悪化させるのは、心ない一言。それを修復するのも、絞りだした一言。大人もそうですが、言ったこと、言われたことで人と人はつながっていますが、どんな言葉で相手に語ったかで、その後は様々な結果になっていきます。

乱暴な言い方をする人は、何かとトラブルが多くなります。温かな言葉遣いの人は、仲間が集まっています。元気ではきはきしている人は、周りを明るい雰囲気になっています。

言葉一つが、その人の交友関係、そして人生を左右していきます。私も、「あの時、なんであんな言い方をしたんだろう」と、後悔した経験がしばしばです。ひとたび言ったことは、なかなか訂正できないのも言葉です。

いじめ見逃しゼロスクール集会においても、子どもたちから、励ましや賞賛などの「ふわふわ言葉」「やさしい言葉」「ほめ言葉」の奨励が発表されました。全校体制で、言葉に気を付け、あたたかな雰囲気づくりに努めています。

言葉の重みを思うとき、大岡信氏の「言葉の力」を思い出します。氏は京都の染物家が桜で染めた糸で織った着物の美しさに魅了されます。そして、鮮やかなピンク色は桜の花びらで染めたと思っていたところ、実は桜の皮から染めたと聞いて驚きます。

このことから、「花びらのピンクは、幹のピンクであり、樹皮のピンクであり、樹液のピンクであった。桜は全身で春のピンクに色づいていて、花びらはいわばそれらのピンクが、樹木全身の色として見せてくれる」ことに気がきました。

この出来事を言葉に照らし合わせ、氏は、「言葉の一語一語は、桜の花びら一枚一枚だといっている。一見したところぜんぜん別の色をしているが、しかし、ほんとうは全身で花びらの色を生み出している大きな幹、それを一語一語の花びらが背後に背負っているのである。」と述べています。

あらためて、言葉を大切にしつつも、言葉だけにこだわるのではなく、言葉の背後にある人間性や感性、人権感覚を同時に磨いていくことが大切と感じます。

さらに言えば、子どもは大人から言葉を覚えることを肝に銘じておきたいものです。

校庭の桜が一斉に葉を落としました。暦も残り一枚です。北風や灰色の空から気持ちも沈みがちになりますが、元気に子どもたちを支えていきましょう。

# 自己ベストめざして走った マラソン記録会

10月31日（木）晴天の下「マラソン記録会」を実施しました。『記録の伸び』や『自分自身のめあて』を意識して、これまで練習に取り組んできました。

本番は、温かい応援の力も加わり、多くの子が自己のベスト記録を出すことができました。これまでの子どもたちの頑張りを家庭でたっぷりとほめていただいたことと思います。保護者の皆様からの応援、運営に協力いただいたボランティアの皆さんに、心より感謝申し上げます。



## もうすぐ本格的な冬です

これから本格的な冬がやってきます。学校でも、雪囲いをしたり、教室の暖房をつけ始めたりと、「冬の装い」になってきました。

最近、寒暖の差が激しく体調を崩しやすい時期です。お子さんの体調管理について今一度ご留意ください。

また、日暮れが早くなり、夕方5時となると真っ暗になってしまいます。学校では、日が短くなる冬期は、午後4時半には家に帰るよう指導しています。子どもたちの安全のために、ご理解とご協力をお願いします。



昼休みに、6年生がボランティアで、落ち葉を掃いて集め、前庭をきれいにしてくれました。集めたふわふわの落ち葉で下学年が遊べる！一石二鳥のナイスアイデアでした！

## ～ 北っ子の活躍 ～

令和6年度 新潟県 JA 共催  
「小中学生交通安全ポスターコンクール」

県知事賞 1年 女子

令和6年度 新潟県歯科医師会主催  
「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」

金賞 4年 女子



# 11月7日（木） いじめ見逃しゼロスクール集会

集会では、運営委員会が中心となって、笑顔で楽しく過ごすために、やさしい声かけや、相手のよさを認め合うことの大切さ、学年をこえて全校で絆を深め合うことのよさをPRしました。



「いじめを見逃さない、いじめを許さない」ために一人一人が勇気もつことの大切さをスマイル班で確認し合いました。絆を深めるための活動についての話し合いや計画づくりを行いました。



## スマイル班で遊ぼう！ スマイルウィークでみんなが笑顔に！

児童会が中心となり「スマイルウィーク」を企画しました。縦割り班での遊びを通して、仲を深め、互いの良さを発見することが目的です。代表委員会での話し合い後、いじめ見逃しゼロスクール集会で全校に提案して企画を進めるなど、高学年がリーダーシップを発揮して活躍する活動です。

いすとりゲーム、フリスビードッチボール、風船バレー、作文ゲーム、ペットボトルボーリング、マジカルバナナなど、どの学年でも楽しめる遊びを工夫していました。挨拶やルール説明なども、高学年が上手にリードしたり、互いの優しい言葉かけや拍手をしたり、とても温かい雰囲気を感じられました。この活動を通して学年を超えて絆を深めることができました。最終回のスマイルメモリー（振り返り）では、これまで活動を振り返り、「ありがとう」の気持ちを伝え合いました。



# 燕北小 夢語り 発表者募集

燕北小コミュニティ・スクール委員会(以下、CS委員会)では、アントレプレナーシップ教育を中心に活動しています。また、昨年度には、燕北小学校の高学年児童とCS準備委員会が対話して、『学校・子どもと地域とのつながり』『地域の方々が集う学校』『夢を語る場』が活動のキーワードとして、挙がりました。

そこで、CS委員会と燕北小学校6年生で



燕北小学校を会場に、北小学校区自治会の小学生からご老人が 自分の夢をお話して、来場者の皆さんから「がんばれー」と応援をもらうイベントを企画しました！

## ご自分の夢をお話ししていただく人を募集します

### 夢語りイベント 開催概要

- 主催** 燕北小コミュニティ・スクール委員会
- 目的** 燕北小校区の大人と子供と地域を元気にしたい！
- 会場** 燕北小学校 木の部屋 ※参加人数により体育館になります
- 日時** 2025年2月11日(火・祝) 10時～12時 (遅くとも12時までに終わります)
- 夢語り人数** 10人程度 (小学校6年生が数名含まれます)
- \* 一人 3～5分間でご自分の夢をお話ししていただきます
- 運営** 燕北小6年生(希望者)、燕北小CS委員
- 参加費** 無料
- 申込〆切** 2025年1月15日(水)
- 申込先** 燕北小学校(燕北CS事務局)
- 申込方法** スマートフォン等で右のQRコードよりお申込みください。



↑参加申込みはこちら↑

## コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。(文部科学省サイトより)